

## 第10回九州畳技能競技大会畳奉納のご報告

此度は、九州畳技能競技大会にて製作した畳をいただき、開催県下組合員を代表してお礼申し上げます。

各県代表選手が丹念に製作した畳を、令和5年12月7日に宮崎神宮に奉納いたしました。

宮崎神宮の徴古館へ敷きました。徴古館は「神武天皇を中心と仰ぐ上代日向の文化を徴すべき考古参考品たる石器、土器、埴輪、玉類、武器、装身具、農工具等」(序文)の宮崎神宮保有の宝物及び伊勢神宮の宝物を陳列・展示する施設として1909年に開館した建物であり、外観は洋風、内部は和風で、外壁はなまこ壁漆喰塗り、屋根には西京瓦が使用されている現在は国登録有形文化財の建物です。

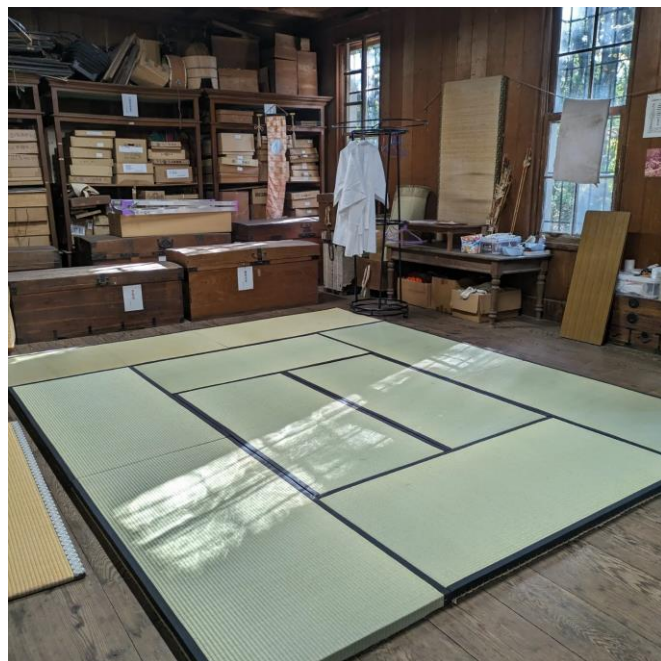
神宮で4月に行われる流鏝馬の練習や準備が年明けから始まり、今回板間が畳になることを大変喜ばれました。先立って宮崎神宮の本殿にて選手代表として福島慶晃さんに玉串を捧げていただきました。

大会に出場し畳を製作するには一朝一夕にはいかないもの、大切な畳を無事納めることができましたことをご報告いたします。

また宮崎神宮より商売繁盛の御札と特製湯飲みとお箸をいただきましたので各県選手の畳店宛に先週送付いたしました。



徴古館



畳敷き